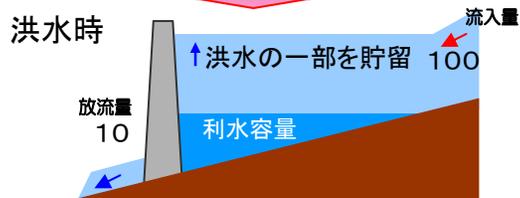


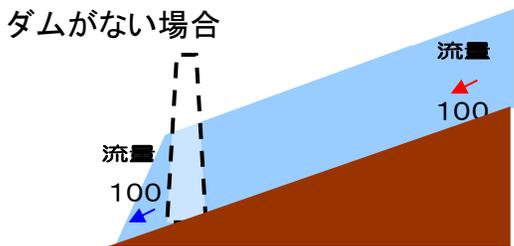
# 平成20年6月梅雨前線による降雨において、川辺川ダムが完成していた場合に果たす機能

川辺川ダムが完成していた場合、今回の洪水のピーク時に約590m<sup>3</sup>/s（最大流入量約1190 m<sup>3</sup>/s → 放流量600m<sup>3</sup>/s）の調節を行うことで下流の洪水流量を低減。

## ダムの洪水調節機能(イメージ)

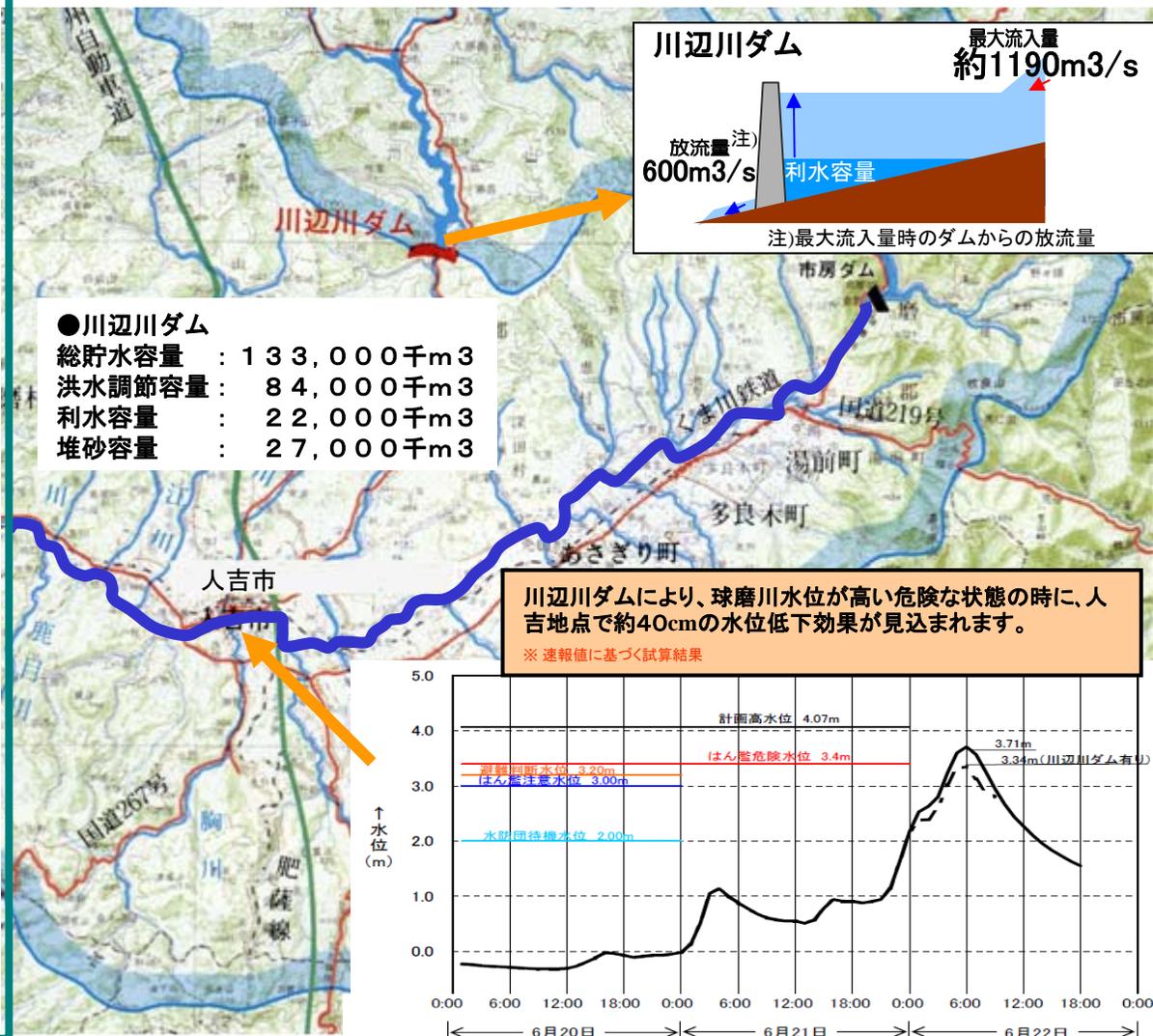


洪水時に、例えば、100流れている水のうち90をダムに貯め、ダム下流河川には10だけ流します。



流れている100の水は、そのまま下流に流れていきます。

このイメージ例では、ダム下流河川に流れる水量は1/10になり、洪水被害を軽減します。



# 人吉地区

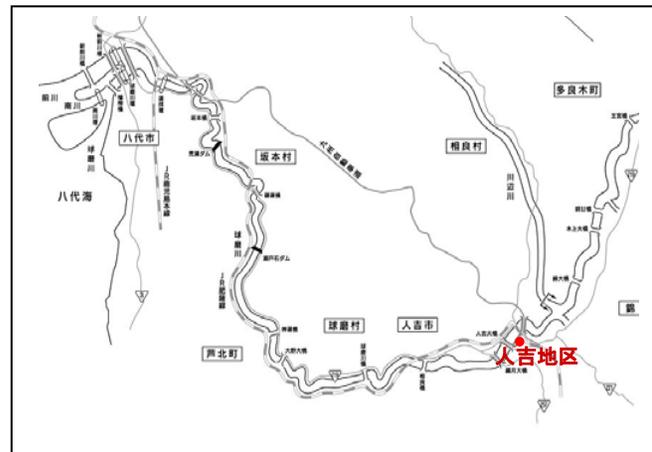


6月22日 6:09撮影：人吉大橋より上流右岸九日町付近を望む

球磨川本川61k600(右)付近  
H20.06.22 6:09撮影  
人吉観測所水位:T.P.+105.32m<sup>※</sup>

※人吉観測所の実績最高水位T.P.+105.32  
6/22 6:00の観測値(速報値)

# 位置図



今回の洪水では、川辺川ダムにより洪水調節が行われた場合、人吉地点で約40cmの水位低下効果が見込まれます。

人吉市中城町

人吉観測所(62k170)

実績最高水位 3.71m(T.P.+105.32m)<sup>※2)</sup>  
(市房ダム調節後、川辺川ダムなし)

H.W.L.<sup>※3)</sup> 4.07m (T.P.+105.68m)

川辺川ダムが完成していた場合の水位 約3.34m(T.P.約+104.95m)<sup>※1)</sup>

人吉市大工町

※1) 速報値に基づく試算結果

※2) 6/22 6:00の観測値(速報値)

※3) H.W.L.とは、計画の河道で計画の流量を安全に流すために設定した水位